

- ★学校FMへの提言 ..... P.1  
これからの学校(法人)におけるファシリティマネジメント
- ★レポート1 ..... P.4  
横浜国立大学(神奈川県)  
メインストリートを軸にパブリックスペース等を整備し、  
キャンパスの活性化を図る
- ★レポート2 ..... P.7  
慶應義塾横浜初等部(神奈川県)  
新たな出発へ、慶應義塾横浜初等部に見る私立の初等  
教育  
インタビュー 慶應義塾横浜初等部 部長 山内慶太氏  
私達が目指す教育を実現できたとき横浜初等部の校舎  
は本当に完成したといえます
- ★「キャンパス マネジメント リポート21」  
発刊について ..... P.12
- ★省エネ法の改正について ..... P.12

# Campus Management Report21

No.1

## キャンパス マネジメント リポート 21

### 学校 FMへの 提言

### これからの学校(法人)におけるファシリティマネジメント

「老朽化した施設とどう向き合っていくか」は、今や学校施設だけの問題ではない。国も昨年11月にインフラ長寿命化基本計画を策定して老朽化を起因とする重大事故のゼロを目指すなど、今後のあるべき姿を提示している。

今後の学校施設を考えるための手法として、ファシリティマネジメント(FM)に注目したい。3月3日に東京・お茶の水で行われた<sup>1</sup>学校施設環境フォーラムでは、このFMをテーマとした講演・意見交換が行われた。この講演から学校施設へのFMの適用の可能性について、考えてみたい。

#### 話し手

#### 藤村達雄氏

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会<sup>2</sup>(JFMA)

キャンパスFM研究部会長

国立大学法人施設部などを経て、現在は独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)施設部参事。認定ファシリティマネジャー、一級建築士)



### マネジメントと ファシリティマネジメント

JFMAでは、FMを「企業や団体等が組織活動のために施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営活動」と定めており、「施設経営」という言葉はお聞きになったことがあるかもしれません。これは、「施設を通じた経営活動」を指します。学校現場と経営は結びつけづらいかもかもしれませんが、皆様業務のいずれかの段階では組織とその運営にかかわっておられることと存じます。そこで「組織活

動のため」という部分に着目して組織を動かす視点からマネジメントをとらえると、FMも理解しやすくなるのではないかと思います。また、「マネジメント」を著したピーター・ドラッカーは、「個別組織のマネジメントの違いは10%に過ぎない」と述べています。本日私が皆様に対してお話しできるのも、ここが重要だからこそだと考えております。ちなみにその10%の違いとは、組織特有のミッションであり、組織文化、歴史、言語などであるとドラッカーは指摘しています。

前半の話はマネジメントをおさら

いするつもりで聞いていただきたいと思います。ですが、「マネジメント」のポイントは、現状から使命やビジョンなどの「ありたい姿」に向かって「なぜ(差を見つける)」と「どうする(埋める)」を繰り返すことです。FMでは「どうする」の手段に施設の活用を用いますが、「ありたい姿」がなければマネジメントはできませんし、「ありたい姿」はそれぞれの部門・現場がそれぞれ持つべきものと現代では考えられています。そのためマネジメントは一握りの経営層が取組むものではなく、それぞれの立場ごとに展開されるものでもあります。この繰り返しがPDCAサイクルと呼ばれており、これは皆様もよくご存知のことと存じます。

マネジメントをPDCAサイクルにあてはめて取組む際、大切と思えることを私自身の経験から申し上げます。Plan(P)では、何よりも現状を知ることです。JFMAでは現状把握を棚卸と称し、まずは所有している施設を「現在余剰」と「将来余剰」「所有・活